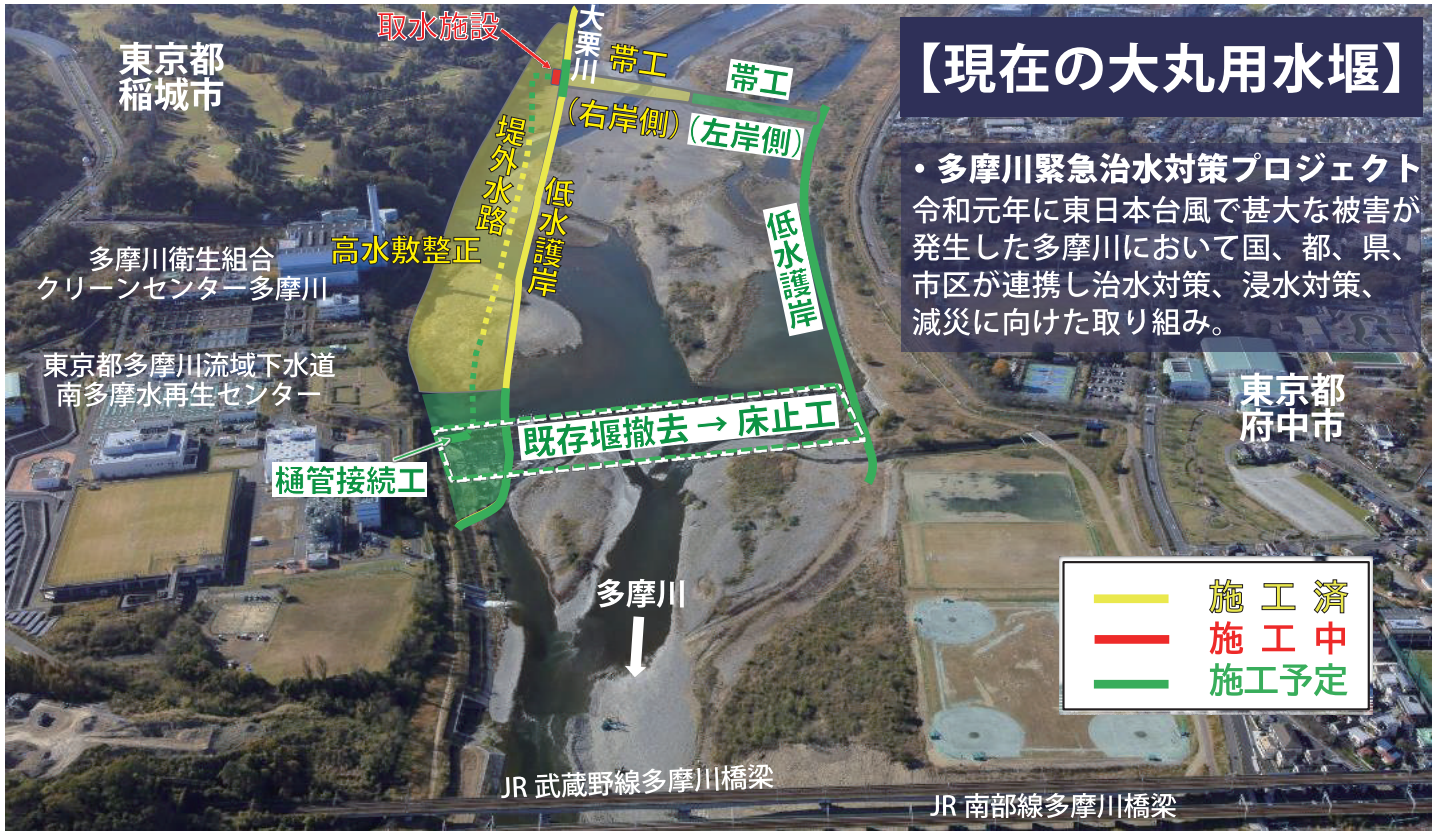


多摩川緊急治水対策プロジェクト【大丸用水堰全面撤去】

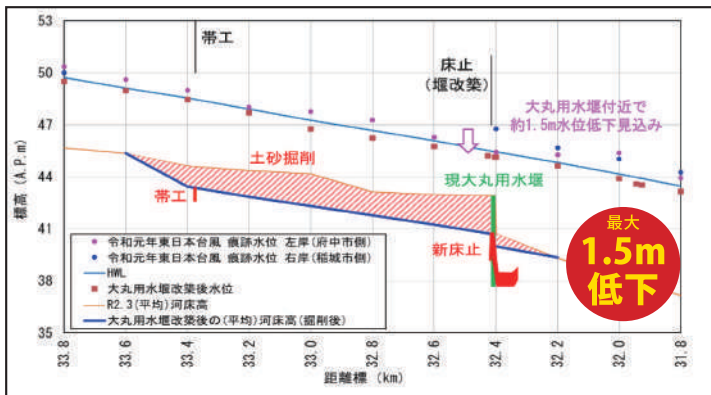


【現在の大丸用水堰】

・多摩川緊急治水対策プロジェクト
令和元年に東日本台風で甚大な被害が発生した多摩川において国、都、県、市区が連携し治水対策、浸水対策、減災に向けた取り組み。

【令和5年8月末時点】

最大1.5m水位が下がります！



多摩川の**大丸用水堰**とは、稲城市と府中市の間にある、多摩川から大丸用水を分水するための堰です。大丸用水は、稲城市平野部を網の目状に広がり、農業用水や生活用水として利用されています。

しかし、この大丸用水堰は、洪水時に多摩川の流れを妨げることで、河川水位を上昇させる原因となっています。令和元年東日本台風では、大丸用水堰付近で計画高水位を右岸側で約 1.35m 超過、左岸側で約 0.6m 超過しました。

そこで、国土交通省は、多摩川緊急治水対策プロジェクトの一環として、大丸用水堰の改築工事を行っています。この工事では、現在の堰を撤去し、

大丸用水堰改築ロードマップ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
関係機関協議	関係機関協議				
大丸用水改築		低水護岸	堤外水路 取水施設	帯工	床止(堰改築)
			工事中		大丸用水堰改築(完了)

※本スケジュールは予定であり、今後の工事進捗・関係機関の調整等により変更が生じる場合があります。

床止め工と帯工を設置し、河道断面を切り下げることで、洪水時に多摩川の流れをスムーズにすることを目指しています。また、改築後も大丸用水が取水できるように、取水施設と堤外水路も設置します。

この工事により、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、堰付近で約 1.5m の水位低下が見込まれます。これは、洪水被害を防ぐために非常に重要な効果です。

多摩川緊急対策プロジェクトに関して
↓詳しくは以下のサイトをご覧ください↓

- ・国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所
- ・稲城市ホームページ

日々の活動を発信中！

